

マックスクリーンボー

SUNCKU-290DS

小型消臭機取扱説明書

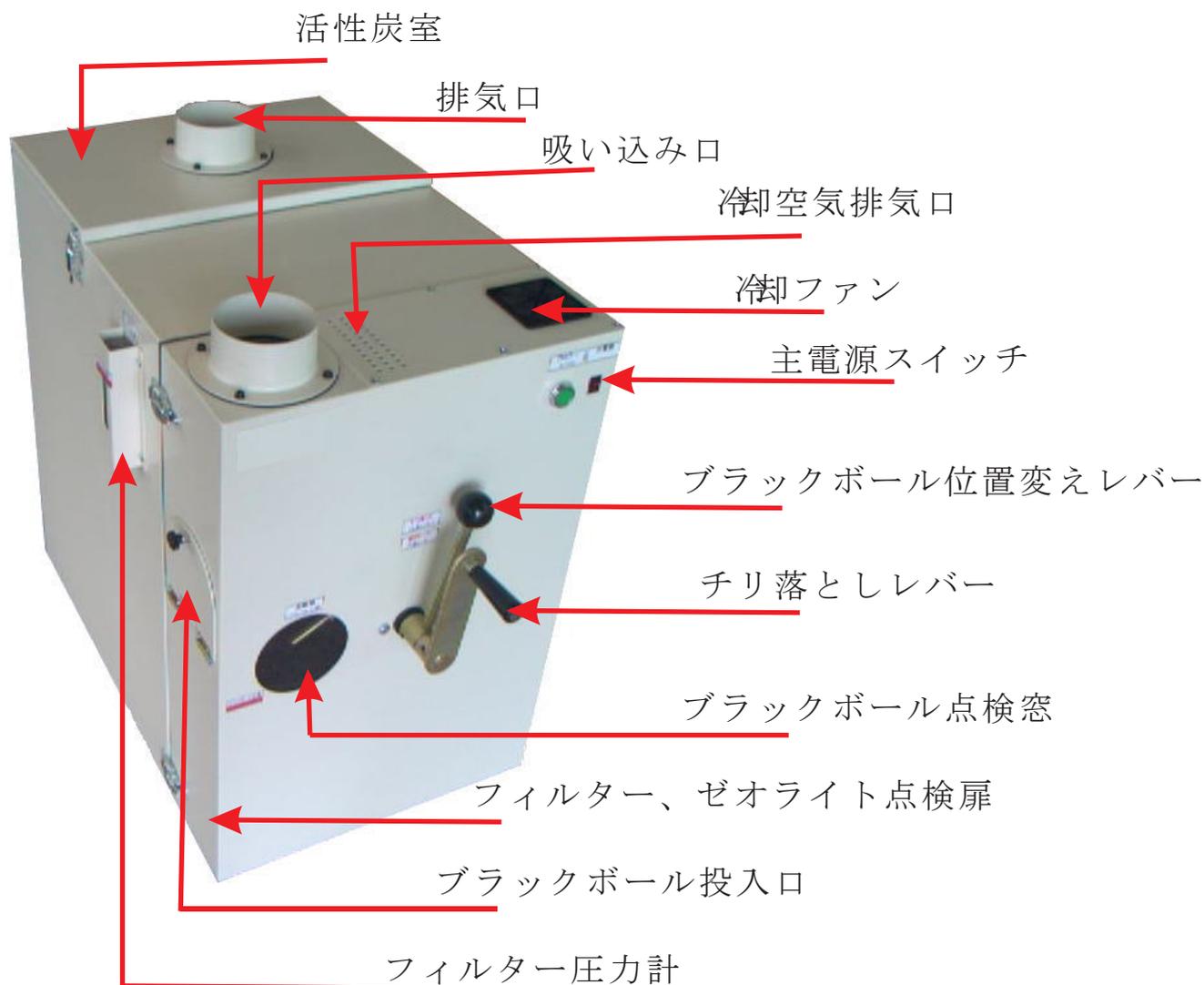


株式会社リンシュンドウ

R S D CO.,LTD.

このたびは、消臭機 マックスクリーンボーをお買い上げ頂き、ありがとうございます。
長期間故障なく安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、
本機の性能を十分発揮できますよう正しいお取扱をお願いします。

1. 本機の名称と仕様



仕様

電源：100v 50/60Hz同性能

消費電力：290W

風量：3m³/min

静圧：6Kpa (at20°C)

本体材質：SS-400 塗装：焼付け塗装

本体概算寸法：W450xD680xH700

本体質量：約95kg

2. 設置

設置にあたっては下記の項目に注意してください。

- 本製品は室内用です。
- 冷却ファン、冷却空気排気口の上をふさがないでください。
- 設置は、水平の位置でガタツキが無いように設置してください。
- 正面(スイッチ側)はメンテナンスのためのスペース(500mm以上)をあけてください。
- 電源は100V単相です。

！注意 アースは必ず取ってください。 電源プラグはアース付きになっています。

3. 運転前の確認

正しく水平に設置されているか。
アースは取れているか。

用意が出来ましたら、主電源スイッチを入れて、ランプの点灯とともに、冷却ファンが回転するかを確認してください。
次にブロー運転スイッチを入れて吸い込み口からの吸引を確認してください。

吸い込み口にホースを接続してください。

4. 運転手順

電源コンセントを入れてください。
主電源スイッチを入れてください。
ブロー運転スイッチを入れてください。

5. 日常点検

1日の作業が完了したら、必ずチリ落としレバーを回転させてチリ落としを行ってください。



手前のレバーを3回転(時計回りに回転)させてください。

1回(3回転)/1日 作業終了時

1週間に1度点検してください。

- ブラックボール位置変えレバーを左右に動かしてください。左右に10cmくらい、2往復動かしてください。

10cm位



1回/週

● フィルター圧力計の赤いフロートの位置の確認



赤いラインまでフロートが上がっていないか確認してください。

塵落としをしても赤いフロートが下がらない場合はフィルターの寿命が考えられます。詳しくはメンテナンス編を参照してください。

ブラックボールの点検(1ヶ月に1回)

- ブラックボールの量は矢印の位置が適切です。点検窓から見えない状態になった場合は補充してください。



1回/月

補充方法はメンテナンス編を参照してください。

ブラックボール適正位置

メンテナンス編

1. ゼオライトの交換

- ゼオライトの交換目安は 100時間です。 1回/月

交換手順

消臭機の運転を停止します。

チリ落としレバーを3回転させてフィルターのチリを落とします。

フィルター、ゼオライト点検扉のパッチンを解除して開けてください。

- ※チリ落とし後 1～2分待ってから扉を開けてください。
すぐに扉を開けるとゼオライトが飛散します。

チリ落としされた、受け皿にたまったゼオライトを専用スコップで取り出してください。

- ※受け皿を引き出すと周囲にゼオライトが飛散します。
一度の交換量は、スコップ4杯です(1400g)
受け皿の3分の2程度が目安です。

！注意

ゼオライトを入れすぎるとフィルターへの巻上げが出来ない場合があります。

投入後、扉を閉めてブロー運転スイッチを入れて約3分間運転をしてください。

3分後、消臭機の運転を停止し、1～2分待ってから、再度扉を開けて受け皿にゼオライトが半分以上残っていれば、スコップでゼオライトを軽く平らにし、再度扉を閉めて3分間運転してください。

- ※その後の運転により自然にフィルターに付着します。



ゼオライト受け皿

2. ブラックボールの補充

- ブラックボールの補充は、ブラックボール点検窓から見えなくなった時です。

適正位置を下回り、点検窓から見えなくなった時、出来るだけ早く補充してください。

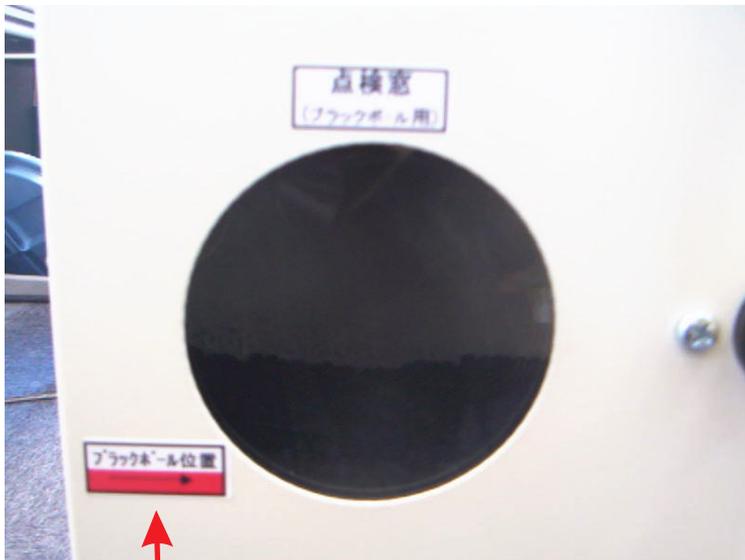
1回の投入量の目安はスコップ1杯(約400g)です。

※ブラックボールの消耗頻度は、ブラックボール位置かえレバーの使用頻度に比例します。

補充目安は、約3ヶ月に1回程度になります。

ブラックボール投入口つまみを左に廻して扉を開き、スコップを使って投入してください。

※投入後はしっかり扉を閉めてください。



適正位置を下回ったら、出来るだけ早くブラックボールの補充を行ってください。



ブラックボール投入口つまみを左に廻し、投入口を開きます。

3. フィルターの交換

- フィルター、ゼオライト点検扉を開き、フィルター上部の蝶ネジ2箇所を左に廻してネジをはずします。

フィルター交換の目安は1年です。
(使用頻度、取り扱いにより異なります)

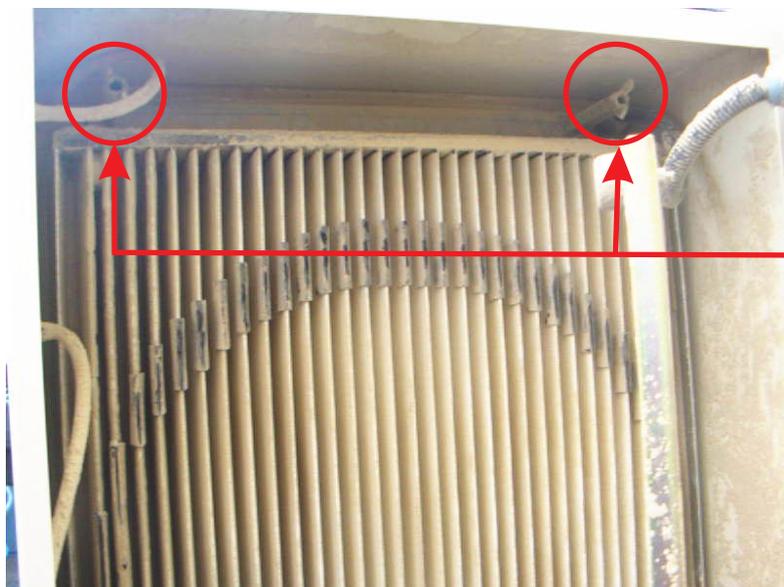
※目安として、フィルター圧力計にフローとが上限まで達して、チリ落しをしても回復しない場合です。

○ フィルター交換前のワンポイント

- ・ チリ落とし後、フィルター表面を確認します。
フィルター表面に粉塵が付着している場合は、軟らかいブラシ等で表面を刷くようにしてください。
フィルター表面にこびりついた粉塵が取れ、フィルターの白い地肌が見えてくれば再度所定の運転をしてください。
さらに繰り返し運転が可能です。

! 注意

フィルターはゼオライトの交換が定期的に正しく行われていれば、長期間使用することが出来ます。



蝶ネジ位置

4. その他注意事項

フィルター圧力計の赤いフロートが上がっていないのに吸引力が低下した。

対策

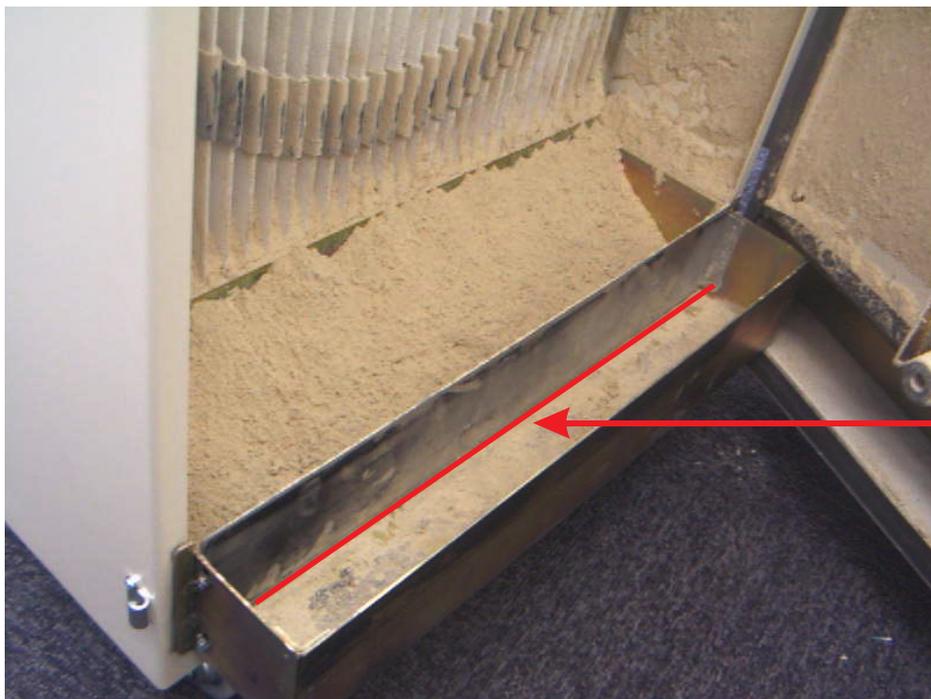
- ブラックボール位置変えレバーを3〜4往復させてください。



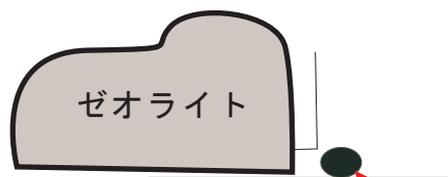
吸引力が変わらない

- フィルター、ゼオライト点検扉を開き、

(A) ゼオライト受け皿の中間板下部の隙間に粉塵が溜まっている可能性があります。
ヨウジ等で清掃してください。



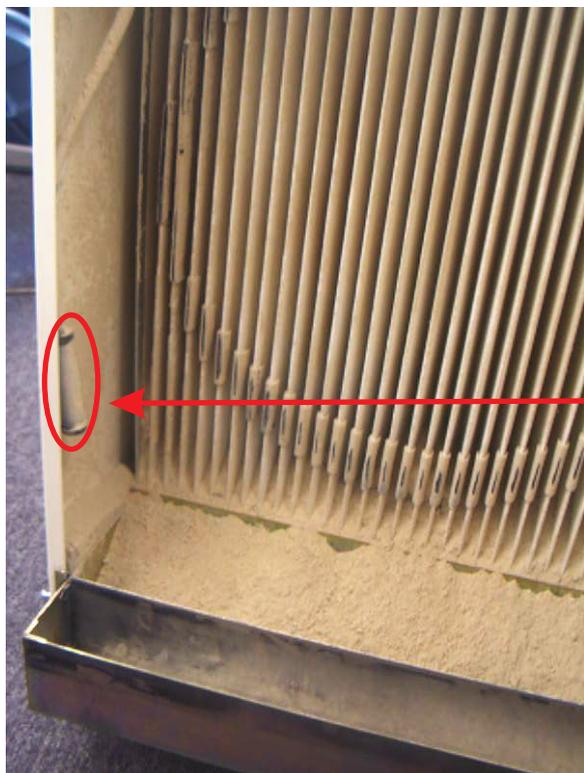
中間板下部の隙間



この部分に粉塵が溜まっている場合があります

吸引力は低下していないが、フィルター圧力計のフロートが下がらない。

本体フィルター室内に圧力計用フィルターが内蔵されています。そのフィルターの表面をブラシ等で掃除してください。また、圧力計用フィルターを取り出し、水洗いすることもできます。



圧力計用フィルター

粉塵、及びブラックボールの粉塵受け皿をゼオライト交換時に点検してください。

粉塵受け皿に溜まった粉塵は除去してください。



入り口より奥の方に受け皿が入っています。受け皿上部の隙間に手をいれ、受け皿を引き出してください。清掃終了後は、受け皿をしっかりと奥まで押し込んでください。装着が甘い場合、扉が閉まりません

停電時の復帰方法

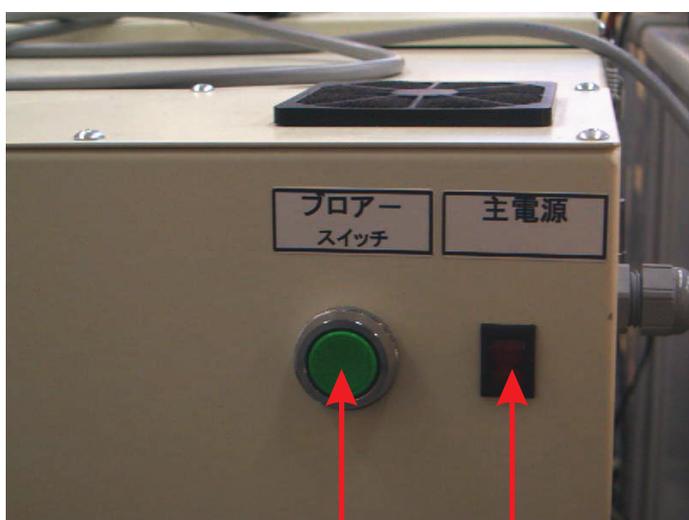
停電時の安全性を考慮し、自動復帰（運転）しないようになっております。

停電時の運転再開は次の手順で行ってください。

1. ブロア運転ボタンを押し、停止状態にしてください。
2. 主電源スイッチをOFFにしてください。
3. 10秒以上待ってから※)主電源スイッチをONにしてください。
4. ブロア運転スイッチをONにしてください。

運転が始まります。

※)10秒以内に電源スイッチをONにしますと、安全装置が復帰されていませんので 1. からやり直してください。



主電源スイッチ

ブローア運転スイッチ

株式会社リンシュンドウ

〒502-0082

岐阜県岐阜市長良東2丁目37番地

T E L : 058-295-5755

F A X : 058-294-0020